

北アルプス 針ノ木雪渓

日程 2012年4月28日

メンバー CL 菊地、新井、柳下(記録)

コースタイム等

4月27日

21:50 新井宅集合 01:30 扇沢着仮眠。

4月28日

7:15 出発→8:30 大沢出合→マヤクボ沢出合→13:45 マヤクボ沢台地上 14:15 滑降開始→17:00 終了

4月27日

ゲレンデスキーを始めて2シーズン目、本格的な山スキーが始めての新井さんが参加し、CLの菊地さん、柳下と3人で扇沢へ向かう。市営の無料駐車場にテントを張って軽く入山祝い後に就寝。ビール好きの新井さんがほとんど飲まかったのは、緊張のためか？

満天の星空で、翌日の晴れは約束されたようだ。

4月28日

6時過ぎ起床。雲ひとつ無い快晴。



駐車場は満車になり、アルペンルートに向かう観光客と山スキーヤーで賑わう。

日焼け止めをベタベタに塗って出発。



駐車場のすぐ上の、アルペンルートの車両回送サービス駐車場の裏手から針ノ木沢にかかる橋をわたり、スキーを履く。新井さんはゲレンデ用の板とブーツを担ぎ、つぼ足で登る。

夏道は左岸についているが、我々は右岸の林の中を歩く。大沢小屋の対岸で休憩。ここまで1時間以上。つぼ足の新井さんは歩く度に沈んでしまう。



前方にはデブリ帯が見え、先行パーティーがデブリの脇で止まっているように見える。新井さんと私は弱気が出るが、菊地さんによると、もっとデブリが多いときもあるとのこと。大沢小屋から1時間

弱歩いて、デブリの末端に到着。細くな
った谷の全面を埋めている。



帰りの滑りを心配しながら、デブリの脇
を登る。雪が腐って、スキーで登っても
ズルズル滑る。スキーアイゼンも効かな
い。新井さんは相当苦勞してデブリ帯の
上へ到着。



正面にはマヤクボ沢、針ノ木沢の大斜面
が広がる。先行パーティーは皆マヤクボ
沢に取り付いている。

ここに残るといふ新井さんに対して、菊
地さんは「トレーニングだからダメです」
という返事。当初計画のマヤクボ沢から、
標高の低い針ノ木峠方面へ変更して登り
始めるが、高い気温もありバテ気味で、
下りの体力のことも考え、再度目的地を
変更し、マヤクボ沢の台地を目指すこと

になった。新井さんの板と靴は菊地さん
が背負う。

マヤクボ沢に入ると再び傾斜が急になる。
腐った雪でスリップしないように、スキ
ーとストックの3点支持で歩くようで、
時間がとてもかかる。新井さんと私は、
菊地さんに大きく遅れをとってしまう。
台地に入る手前、ハイマツの間の幅の
狭い斜面を新井さんは直登していったが、
私は急な狭い斜面のキックターンの繰り
返りで、更に遅れをとってしまった。ズ
ルッと滑ると、かなり下まで行ってしま
いそうな傾斜で、緊張した登りになった。

二人を大変お待たせして、台地に入る。
鹿島槍、爺ヶ岳など、素晴らしい展望だ。
稜線からの大斜面には何本かのシュプ
ールが見える。





休憩の後、菊地さん先頭に急斜面に滑りこむ。急斜面に慣れない新井さんは、出だしから転んで板をはずし、苦勞している。菊地さんのアドバイスを受けながら、なんとか下りてきた。

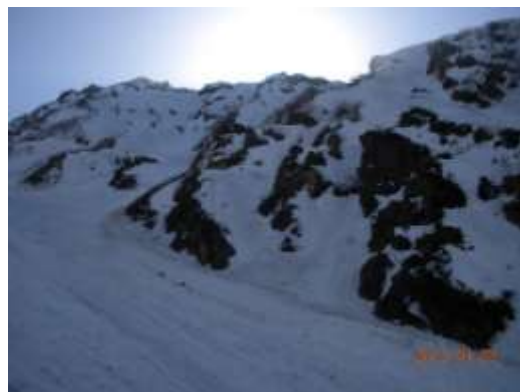


快適な斜面を写真やビデオを撮りながらデブリの上まで滑る。雪が良いと下りは

本当に早い。



デブリの脇を斜滑降と横滑りで下るが、慣れない新井さんは転倒を繰り返し、足がつったりして大変だ。



日も西に傾き、17時過ぎに扇沢着。丸一日の充実したスキーでした。